



## 共同獣医学部学術セミナー

演 題： 新規カルモジュリン関連蛋白質による血管病態制御機構の解明  
講 師： 臼井 達哉 先生  
(北里大学獣医学部 特別研究員)

開 催 日 時： 9月25日(水) 16:00-17:00

場 所： 山口大学連合獣医学研究棟4階 大講義室

講 演 要 旨：

Ca<sup>2+</sup>結合蛋白質であるカルモジュリン(CaM)はCaM依存性(関連)蛋白質の制御を介して筋収縮、免疫応答、代謝、神経成長といった様々な細胞機能に影響を与える。私はこれまで自然発症高血圧モデルラットと培養血管細胞を用いて高血圧症の病態に関わる新規CaM関連蛋白質の探索とその病態制御機構解明に関する研究を行なってきました。

本セミナーでは私が血管系において機能を明らかにした3つのCaM関連蛋白質(histone deacetylase (HDAC)4、death associated protein kinase (DAPK)及びeukaryotic elongation factor 2 kinase (eEF2K))について紹介し、今後の展望についても述べたいと思います。

問合せ先：佐藤 晃一 (内線5905)